



けいせん

2012.9.3



虫のなき声が少し変わった。朝の風は気持ちよく吹いていますが、まだまだ暑い日が続きそうです。夏休み、いかがお過ごしでしたか？

久か租園にまた子どもたちのにぎやかな声と元気な姿がかえってきました！
久しぶりの登園にちびっぴり不安な子、友達との遊びを嫌んでいる子など様々です。
また改めて一人ひとりの気持ちやペースを大切にしながら過ごしていきたいと思っています。

7月の保護者会で、生活習慣における積み重ねの大切さや、日々の生活をゆたかに、というのを少しお話ししました。生活をゆたかに、というのは、せいかくをするということではなく、買い物・掃除・料理・食事・散歩など、日常の事を子どもと一緒にすることで、会話をかわり多にして共有していくこと、一日一日を大切にすることです。いつもお話しをする時は、自戒の念を込めて自分にも言い聞かせながら、なのですが...

8月のある日。一日ゆっぴりわが子と過ごす日。やってしまいました...
今日は、じっくりたくさん一緒にいて、お互いにじっくりかな一日を過ごすぞ！とA勝手に決めていたのは私。そんなことは全く知る由もない息子。そして些細なことから私の怒りバクバク!! 私が一方向的に理想を掲げていたが故に、息子のちびっぴり行動に(その時は「ちびっぴり」と思えば)「うううううう」感傷をぶつけてしまったのです。私も息子を引く(引けなく)なり、じっくりかな一日どころか、びつかれる一日となっていました。その後は、自己嫌悪と罪悪感の嵐。ちびっぴりなっていました...。

そういえば最近、もっと我慢することも身につけてほしい、挨拶は気持ちよく、約束を守るように等、こちらの要求が増えてきて、知らず知らずのうち(いつも何かを言い聞かせていた)ように。その口調はやさしく、でもいつもとなると彼にとってはあまりに正しい時間ではなかったことでしょう。これはよくない!とある時、彼の要求に対して、私が精神的にも身体的にも時間的にも、無理なことを求められるものに全て応じた後、「できる時にはあなたの気持ちをしっかりと聞いてそれに最大限応じていよう」ということを伝えました。それがどれほど伝わったのかはわかりませんが、その時以来、彼も少し気持ちのコントロールができ、おやみにぐずぐずしなくなり、ということが起こってしまいました。いつまで続くかは？ですが...

子どもの成長は行きたる、子育ても行きたるです。喜びの時もあればおちこちの時もある。でも、その度に、私自身も成長させてもらっているのかな、その日々を共に歩いていけると、感じた夏でした。